

(添付資料)

## 大阪湾セミナー講演概要

### 1. 知ってびっくり！大阪湾の海岸生物の多様性

山西 良平（大阪市立自然史博物館）

大阪湾海岸生物研究会が実施している定点調査や、市民参加による生き物一斉調査の成果から、カキやフナムシなど、大阪湾の海岸生物に関する興味深い話題を紹介します。また湾内の水環境と海岸生物の多様性について考えてみます。

### 2. 超！高級魚「あこう」 魚庭（なにわ）で増殖中

辻村 浩隆（大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部）

大阪湾で漁獲される魚の中で、最も値段の高い魚を知っていますか？ それは「あこう」と呼ばれる魚です。全く捕れない時期もありましたが、稚魚の放流等の取り組みにより、増えてきました。今回はこれらの取り組みについて紹介したいと思います。

### 3. 大阪湾の栄養状態によって獲れる魚が変わる！？

中嶋 昌紀（大阪府立環境農林水産総合研究所 水産研究部）

過去には瀕死の海と言われた大阪湾も、最近ではかなり水質改善が進んできました。水質の変化に伴い、大阪湾で漁獲される魚介類の種類にも変化が見られます。本講演では、水質と魚介類の関係の一端をご紹介します。

### 4. 大阪湾域のエコロジカルフットプリント～環境と経済の話

入江 政安（生態系工学研究会，大阪大学大学院工学研究科）

大消費地である大阪では、エネルギーや食料など多くのものを域外からの移入に依存しています。その消費量は域内で直接生産している量の25倍ぐらいです。果たして、地産地消が目指せるのか？ 私たちの生活の現状を環境と経済という面からお話しします。

### 5. 海からの恵みを増やす –海産バイオマスの有効利用–

中谷 直樹（生態系工学研究会，大阪府立大学大学院工学研究科）

海からの恵みといえば、漁業や観光などが思い浮かびますが、それだけではありません。大阪湾のポテンシャルを有効に使うことで、海からの恵みを積極的に増やすことができます。本講演では、海藻の大量培養とその利用方法についてお話します。